

## 全体目標達成に向けた神戸市の取組み ～神戸 2020 ビジョン・神戸創生戦略の進捗状況～

### 基本目標 1 安定した雇用を創出する

#### 日本初！世界トップレベルの起業家育成支援プログラムを実施

若手起業家を神戸に呼び込み、起業しやすいまち神戸を世界に発信するため、世界トップレベルのアクセラレータ（スタートアップの育成団体）「500 Startups」を日本で初めて誘致し、神戸版の起業家育成支援プログラムを実施しています。

- ・「500 Startups」※<sup>1</sup>のプログラム誘致

※1 シリコンバレーで成長起業家の育成プログラムの提供を行っている世界トップレベルの育成支援団体

起業家育成支援プログラムへの申込み総数 206 件 参加チーム数 21 チーム  
(国内 18 チーム、海外 3 チーム)

#### 神戸医療産業都市の推進

国家戦略特区、世界に誇る地域発研究開発・実証拠点推進プログラム等を活用し、iPS 細胞等を用いた再生医療、革新的医薬品、医療機器等の実用化等を行います。

##### 医療産業の領域拡大

- ・休養・栄養・運動など市民生活に近いヘルスケアサービス開発支援

##### iPS 細胞を用いた再生医療研究

- ・(仮称)神戸アイセンターの整備(平成 29 年秋頃竣工予定)

##### 創薬関連企業誘致

- ・神戸医療イノベーションセンターの整備(平成 29 年 4 月オープン予定)

進出企業数 327 社(平成 28 年 10 月末) 雇用創出数 約 8,100 人(平成 28 年 6 月末)

#### アフリカ・ルワンダ地域との ICT 分野における経済連携機能の強化

アフリカなど成長著しい地域との経済交流に取り組むことで、神戸経済の新たな成長機会の創出を目指します。

- ・アフリカ地域との経済連携強化

神戸で開催したルワンダ共和国ビジネスセミナーへの参加者数 92 人  
ルワンダ共和国への民間事業者派遣参加数 7 社 (10 名)

## 基本目標2 新しいひとの流れをつくる

### 移住促進に向けた都市プロモーションの推進

専用ウェブサイトを中心とする各種広報媒体による神戸の暮らしの魅力を発信するとともに、「お試し移住」といった体験型の移住促進施策を実施しています。移住セミナー等で神戸への移住に関する相談を受け付けています。

お試し移住 体験者数 H27：27組42名、H28：32組40名（申込み総数：1,387）  
移住相談 約250名

### 「神戸・里山暮らし」の推進

豊かな自然を満喫できる農村部に暮らしながら、都会近くでの利便性を享受できる「神戸ならではの里山暮らし」を推進します。

- ・農村定住促進コーディネーターを北区・西区に配置
- ・農村地域にある空家に特化した空家バンクを開設
- ・農村地域の魅力をPRするイベントの開催

農村定住促進コーディネーターへの相談件数 287件（平成27年7月～平成28年8月）  
コーディネーターが関与した移住件数 5件

### 都心・三宮の再整備 魅力的な公共空間の創出

東遊園地の芝生化実験や芝生広場を活用したイベント、三宮プラッツでの音楽イベントなどを行い、人々が憩いにぎわう魅力的な公共空間を創出します。

東遊園地でのイベント件数 118件  
来場者 延べ25,000人以上（平成28年6～11月）  
三宮プラッツでのイベント件数 8件  
イベントの来場者数（延べ人数）約2,800人（平成28年10月～11月）

### **基本目標3** 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### **結婚新生活支援事業**

結婚して神戸で新生活をスタートさせるきっかけとなる経済的支援を行い、結婚数の増加につなげることで、少子化対策に寄与することを目指します。

平成 28 年 10 月より受付開始

最大 30 万円を補助

年齢・所得制限や、2 年間の神戸市居住、住宅の広さなどの要件あり

受付件数 4 件

#### **新たな子育て施策の開始**

人口減少社会の克服を目指し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、新たな子育て施策を展開します。

#### **仕事と子育ての両立支援拠点の整備**

市内の商店街の空きスペース等を活用し、託児スペースを備えたオフィスを整備・運営する事業を実証事業として実施

(平成 29 年 4 月開設予定)

#### **KOBE はじめルーム**

(育休明け乳幼児定期預かり事業)

育児休業を終了して復職する保護者を対象に、これまでの一時保育を拡大し、保育園等において、月曜日から金曜日まで乳幼児をあずかる(平成 28 年 11 月～)

#### **働き方改革の推進**

働く意欲を持つすべての人が、ライフステージに応じた働き方を選択し、能力を發揮できる環境づくりを進めるため、インターネットを使って時間や場所にとらわれず働く「クラウドソーシング」による就労や、ICT を活用して自宅やサテライトオフィスで働く「テレワーク」の企業への導入を支援・推進しています。

市民向けクラウドソーシングセミナー・ステップアップ講座 4 回

企業向けテレワークセミナー・ワークショップ 2 回

**基本目標 4** 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、  
地域と地域を連携する

**空家・空地及びごみ屋敷への対策**

地域の生活環境に悪影響を及ぼしている空家・空地、ごみ屋敷への対策を推進し、地域の保安等の問題を解消します。

**空家空地対策**

- ・ 建築基準法による対応(平成 13 年～)
- ・ 神戸市建築物の安全性の確保等に関する条例改正(平成 25 年 7 月施行)
- ・ 「神戸市空家空地対策の推進に関する条例」の施行(平成 28 年 10 月全面施行)

建築基準法による代執行 11 件

市内の特定空家等(是正中) 約 210 件(平成 28 年 7 月末)

**ごみ屋敷対策**

「ごみ屋敷対策条例」の施行 (平成 28 年 10 月全面施行)

**区役所に「くらし支援体制」を構築**

社存の制度に当てはまらない相談を幅広く受け付ける「くらし支援窓口」と、社会的孤立に陥りがちな生活困窮者にアウトリーチする「地域福祉ネットワーク」を中心として、各区役所に「くらし支援体制」を構築し、生活困窮者の早期発見や、包括的・継続的な相談支援に取り組むことにより、貧困の連鎖防止を図ります。

**生活困窮者自立相談支援（くらし支援窓口）**

- ・ 全区に「くらし支援窓口」を設置 平成 27 年 4 月、計 11 か所
- ・ 全区に「くらし支援担当係長」を配置し相談機能を強化 平成 28 年 4 月、計 11 名
- ・ 法上の必須事業のほか、全ての任意事業を実施

**生活困窮者支援を通じた地域づくり（地域福祉ネットワーク）**

- ・ 「くらし支援窓口」のアウトリーチ機能を担うため地域福祉ネットワークを拡充し、全区に地域福祉ネットワークを複数設置 平成 28 年 4 月、11 名拡充・計 20 名
- ・ 民生委員やふれあいのまちづくり協議会等との連携を強化するなど、多様化・複雑化する福祉課題に対して地域で支え合う仕組みづくりを推進

**区役所における総合窓口のモデル設置**

総合窓口の導入により、来庁者の利便性の向上及び質の高い市民サービスの提供に取り組めます。

平成 29 年 1 月より、東灘区役所にて総合窓口をモデル的に導入開始予定

今回の導入では、転入・転出に関する届出のワンストップ窓口のモデル設置を行う

## 地域コミュニティ交通支援事業

地域のくらしを支える交通環境を形成するため、地域主体でコミュニティバスの試験運行を実施しています。

### 垂水区塩屋

コミュニティバス（乗合タクシー）「しおかぜ」運行  
[平成 28 年 11 月～平成 29 年 3 月(予定)]  
18 便/日（日祝は 9 便/日）  
2 ルート運行

### 北区八多町

コミュニティバス運行  
[平成 28 年 9～11 月]  
12 便/日 2 ルート運行

### 北区大沢町

コミュニティバス（乗合タクシー）「やまびこ」運行  
[平成 28 年 9～11 月]  
7 便/日 3 ルート + 注文運行

## 神戸市内初の商用水素ステーションの整備

環境面、産業面をはじめとした様々な分野での貢献が期待される水素エネルギーに着目し、「水素スマートシティ神戸構想」としてその利活用の促進に取り組んでいます。

平成 29 年 3 月 神戸七宮水素ステーション（仮称）が兵庫区に開所予定

## 主なトピックス

### G7神戸保健大臣会合の開催

G7神戸保健大臣会合は「神戸コミュニケ」という成果文書と共に無事に閉幕。兵庫・神戸の魅力や神戸医療産業都市などの取組みを発信しました。

市長プレゼンテーション参加者 76 名

関連施設の視察 56 名

### 民間事業者による神戸空港の運営

(事業の目的)

①民間事業者の創意工夫によって、神戸空港と関西国際空港及び大阪国際空港とともに一体運営に資する方策を講じ、3空港それぞれの能力を適切に活用することによって、関西全体の航空輸送需要の拡大、神戸経済の活性化、更には関西経済の発展に貢献すること、

②神戸空港について、滑走路とターミナル施設等を、民間事業者の資金及び経営能力を活用することで一体的かつ機動的な空港運営を実現すること、を目指します。

(スケジュール)

平成 28 年度

実施方針の公表 (9月)、募集要項等の公表 (10月)

平成 29 年度

優先交渉権者の選定 (8月頃)、実施契約の締結 (10月頃)

平成 30 年度

運営権者による事業開始 (4月頃)

### 神戸開港 150 年記念事業

平成 29 年(2017 年) 1 月 1 日に開港 150 年を迎えるにあたり、市民とともに祝い、海、船、港への関心を深め、神戸港のさらなる発展のスタートとします。

(主なイベント)

- ・国際会議(平成 29 年 2 月 13 日、14 日)
- ・クイーンエリザベス神戸発着クルーズ (平成 29 年 3 月 13 日、20 日)
- ・神戸開港 150 年記念式典・祝賀会(平成 29 年 5 月 19 日)
- ・神戸開港 150 年音楽祭(平成 29 年 5 月 20 日、21 日)
- ・海フェスタ(平成 29 年 7 月 15 日～8 月 6 日)
- ・秋の「食」イベント(平成 29 年 9 月 17 日、18 日) 等